



雪中だより

令和七年 一月三十一日 発行

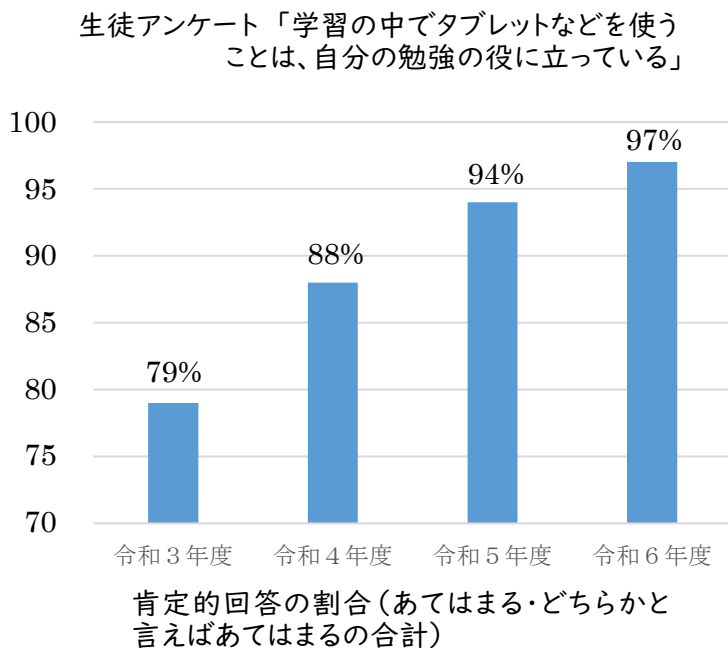
大田区立雪谷中学校

校長 柳 歓子

雪谷中学校の研究

校長 柳 歓子

左のグラフは、生徒アンケート「学習の中でタブレットなどを使うことは、自分の勉強の役に立っている」の肯定的回答です。



雪谷中学校は、令和五・六年度大田区教育委員会教育研究推進校として『学習者主体の授業』に向けた学習者用タブレット活用工夫をテーマに研究に取り組んできました。

この二年間、研究授業などで生徒の皆さんにもたくさん協力してもらいました。

雪谷中学校がこの研究テーマを選んだのには、二つの理由があります。

一つ目は、これからの学習では、自分で考える、自分で選ぶということがとても大切だからです。「勉強」というと、教科書の内容を理解して、必要な知識は暗記し、問題が解けるようになることを思い浮かべる人が多いと思います。もちろんそれはとても大切なのですが、それと同時に「自分の考えを持つ」「自分の考えを表現する」「自分から調べたり学んだりする」などの体験が大切です。高校受験などで必要となる知識・技能をしっかりと身に付けながら、豊かな体験を創り出すにはどんな形の授業が効果的なのか、先生方もいろいろな授業に挑戦し、工夫しました。

二つ目は、令和三年度から導入された学習者用タブレットの効果的な使い方を研究することは、現在とても重要な教育課題だからです。

コンピューターは、今や私たちの生活にとってなくてはならないものです。とても便利な反面、「今日もスマホに時間を使ってしまった…」などと反省することもあるかもしれません。

実は授業でも、何に使うか、どう使うか、あえて使わない方が良い場面はどこかなど、よく考え、きちんと工夫して使うことが大切です。

未来社会を生きる皆さんに、コンピューターを使い慣れもらおうというねらいを達成しながら、学習としても良い学びになるためにはどんな形の授業が効果的なのか、先生たちは様々な工夫をしてきました。

その結果、雪谷中学校のタブレット活用率は大田区の中学校でトップクラスとなり、東京都や全国の平均を上回るようになりました。先生方からは「生徒の学習意欲が高まったと感じる」「学習支援がしやすくなった」「生徒の考えや意見がよりわかるようになり、新しい発見があった」などの成果があげられています。

今回の研究で成果を上げることができたのは、先生方がとても頑張ってくれたことでもあります。生徒の皆さんが一生懸命に授業に取り組んでくれたおかげでもあります。ありがとうございます！

来週、二月三日は研究発表の日です。大田区中から多くの先生方が皆さんの授業を見に来校されますが、自信を持って、雪中生らしく爽やかに、のびのびと授業に取り組んでください！

◎ 2月～3月の予定（行事予定は変更になる場合があります）

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
2	1	土	連合技術・家庭科展始	3	1	土	
	2	日			2	日	
	3	月	全校朝礼 研究発表会		3	月	都立一次・分割前期発表
	4	火			4	火	
	5	水	都一般出願終		5	水	卒業遠足(3)
	6	木	連合技術・家庭科展終		6	木	救急救命講習会(3)
	7	金	⑥薬物乱用防止教室(2)		7	金	笑顔と学びのプロジェクト⑤
	8	土			8	土	雪中祭り
	9	日			9	日	
	10	月	私立一般入試		10	月	生徒会朝礼 ESAT-J YEAR1,Year2
	11	火	建国記念の日		11	火	避難訓練(地震) 都立二次・分割後期入試
	12	水	安全指導 職員会議		12	水	職員会議
	13	木	避難訓練(津波) 専門代表委員会		13	木	学校運営協議会
	14	金	社会科見学(1)		14	金	都立二次・分割後期発表
	15	土			15	土	
	16	日			16	日	
	17	月	生徒会朝礼		17	月	
	18	火	学力補習教室		18	火	
	19	水			19	水	卒業式
	20	木	学力補習教室		20	木	春分の日
	21	金	都立一次・分割前期入試		21	金	保護者会(1,2)
	22	土			22	土	
	23	日	天皇誕生日		23	日	
	24	月	振替休日		24	月	
	25	火	第4回定期考査		25	火	修了式
	26	水	第4回定期考査		26	水	春季休業始
	27	木	第4回定期考査		27	木	
	28	金			28	金	
					29	土	
					30	日	
					31	月	

○ 1月11日（土）集団下校訓練

1月11日（土）に、集団下校訓練を実施しました。

エリア別のグループに分かれ、3年生を中心にまとまって下校しました。大きな災害の場合は学校待機となりますが、不審者情報等により集団下校を実施した例もあります。これからも、まさかの時への備えにしっかり取り組んでいきます。

